



R7. 6. 20

志を掲げ、未来を拓く
おおらかに 高く たくましく

校報

高 雄

雄和小学校・雄和中学校

No.3



校長 嵯峨 郁

3年目の俳句教室

6月11日(水)は中学校の1・2・3年生が、18日(水)は小学校4・5・6年生が、俳句について学習しました。

講師の先生として、工藤一紘先生(石井露月研究会会長)と武藤素魚先生(石井露月研究会副会長)のお二人をお招きしての俳句教室でした。

ふるさと雄和の先覚者「石井露月」氏の功績を知るとともに、俳句を作る学習を通して文化を受け継ぎ、心豊かに文学に親しむことをねらいとしています。

お二人の講師の先生からは、自分たちの作った俳句にあたたかい助言をいただきました。子どもたちの思いが込められた言葉を「5・7・5」のリズムに乗せて、豊かに表現されている一人一人の俳句に、とても感動しました。詩を読むだけでなく、子どもたちの思いを聞くことにより、さらに味わい深い作品となっていました。

このあと、推敲を重ねてよりよい作品に仕上げ、今年も「石井露月顕彰全国俳句大会兼秋田市短詩型大会」へ投稿することとなります。



夏の中総体！～頑張った～頑張った～雄中生！～

中学校運動部の最も重要な大会である秋田市中学校総合体育大会が、6月14日(土)～16日(月)の日程で開催されました。応援団は、初日は女子バスケットボール部の応援、2日目は野球部の応援でした。どちらも合同チームだったので、応援も合同で行いました。各校応援団とは、試合直前の打ち合わせだけでしたが、見事な応援ぶりでした。気合十分でしたし、力強い熱のこもった応援は、選手の大きな力となりました。それに答えるかのように、今までの練習の成果を発揮すべく、ひたむきに最後まで粘り強く戦った選手たちでした。

また、男女ソフトテニス部と柔道の酒井さんも、「雄和中」を背に全力で戦ってくれました。まさに「チーム雄和」の中総体でした。

何かに全力で取り組むこと、思うような試合展開にならずに悩んだり、負けて悔しい思いをしたりして涙を流すこと、全力で頑張っている仲間を全力で応援することは、とても貴重な経験となります。生きるパワーとなり、支えてくれるはずです。

